

ラボナビ仕様書

スタッフチーム

V 担当	12-1-037-0049 小坂田 光
CCM 担当	12-1-037-0026 中才 恵太郎
SCM 担当	12-1-037-0051 天満 勇介

2014 年 11 月 26 日

イントロダクション

作成者：小坂田（V担当）

1. アプリケーションの目的

現在の研究室配属では、各研究室の詳細な情報が教員側から学生側にのみ大きく依存しているために、学生間での情報の共有が上手く行われていない状況にある。また、研究室訪問が可能である期間が凡そ1ヶ月間と限られているので履修している授業が多い学生や一週間でそれほど多くの時間が取れない学生は訪問できる研究室の数が限られてしまう。その結果として「どの研究室がいいのか」を吟味することが少々困難になる。

そこで本アプリケーションでは、各研究室の様々な情報を学生同士でも共有できるようにすることで学生の研究室選びを補助することを目的として開発を行う。

本アプリケーションの目的は以下のとおりである。

- 各研究室の情報を学生間の間でも共有できるようにする。
- 教員側は、その研究室の生の評価を参照することができる。

2. アプリケーションの範囲

本アプリケーションは「ラボナビ」呼び、研究室情報共有サービスを提供する。

情報共有サービスとは、ユーザーからの口コミを収集し相互に情報を共有する場を提供するサービスである。次に挙げるような機能を持っている。

- ユーザーが情報を投稿することができる。
- ユーザーがコメントを残すことができる。
- 上記のコメントに対して自他ともにコメントすることができる。
- 各ユーザーがメールボックスを所持している。
- 上記のメールボックスにおいて様々な情報を送受信することができる。
- 各トピックに対して評価することができる。
- 項目に対してランキングを表示する事が出来る。
- ユーザーのマイページを作成できる。
- ユーザーのフレンド登録をできる。

本アプリケーションが提供するのユーザーが情報をアップロードする機能、各トピックに対して評価・ランク付けすることができるようにする機能のみとする。

3. アプリケーションの概要

本アプリケーションは、情報共有サービスを提供するものである。本アプリケーションのユーザーは次に挙げる機能を使用することができる。

- 学生が各研究室に対して評価することができる。
- 研究室に対しての評価のランキングを表示する事が出来る。
- 教員が、自身の研究室に対して、情報を投稿する事が出来る。

- 学生、教員が研究室の情報を閲覧することが出来る。

4. アプリケーションの条件

本アプリケーションに課された条件は、以下のとおりである。

- プログラミング言語として JavaScript と Java を使用すること。
- サーブレットコンテナとして Jetty を使用すること。

ユースケース図とユースケース記述

作成者：・・・天満（SCM 担当）

